

家庭学習のさせ方

市原市立湿津小学校



家庭での学習は、将来児童が社会人として自立するための基盤となる大切なものです。学校でも学習内容の定着、学習意欲の向上のため、学習課題を明確にし、「わかる・できる」授業実践のため日々努力しています。家庭と連携を深め、より確かな力を養っていきましょう。

家庭学習の充実を図るとともに、子どもたちがよい習慣を身につけてほしいと思います。

〔家庭学習の方法〕

(1) 家庭学習の習慣（家庭学習のポイント）

- ①毎日必ず学習する。（できれば時間を決めて） → 家庭学習の習慣化
- ②テレビを見ながらしない。 → 集中力の向上
- ③机の上をきれいにし姿勢をよくして行う。 → 学習の効率化
- ④学習が終わったら、次の日の準備をする。 → 忘れ物の防止

(2) 発達段階による家庭学習

- 1・2年 → 学校の宿題はできる。家庭でも学習しようという気持ちができる。
- 3・4年 → 学校の宿題を確実にできる。宿題以外にも少しずつ自主学習ができる。
- 5・6年 → 宿題が出なくとも基本の学習ができる。必要性のある自主学習ができる。

(3) 家庭学習の時間のめやす

学年×10分（例えば6年生なら6×10＝60分）

(4) 家庭学習の内容（こんな学習をしたらどうでしょう）

国語	算数	社会・理科・総合等
<ul style="list-style-type: none"> ○漢字練習 ○漢字ドリル ○意味調べ ○日記 ○教科書の音読・視写 ○漢字調べ（部首、書き順） ○テストやプリントの問題をもう一度解く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計算練習 ○算数ドリル ○スキルアップドリル ○教科書の問題 ○百マス計算 ○テストやプリントの問題をもう一度解く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○勉強したことに関係のあることを資料集などで調べる。 ○授業で学習したことをもう一度ノートにまとめる。 ○学習の予習（教科書を見る）
ほか	<ul style="list-style-type: none"> ・読書をしましょう。 ・国語辞典、漢字辞典、その他の図鑑を身近に置いて調べましょう。 ・日本地図、世界地図、地球儀を身近に置いて調べましょう。 ・高学年は新聞の記事などに目を通してみましょう。 ・自然や生き物とふれあい、観察してみましょう。 ・詩や歌の暗唱をしましょう。（例えば俳句や百人一首） 	

